

桃陽病院の現状と今後の在り方検討について

【目次】

- 1 はじめに
- 2 施設概要
- 3 現状及び課題
- 4 これまでの取組
- 5 今後の在り方検討

令和 7 年 1 2 月
子ども若者はぐくみ局

1 はじめに

桃陽病院は、昭和 27 年に小児結核保養所として開設したことに始まり、時代の変遷に合わせ、現在では、慢性疾患等の小学校児童及び中学校生徒に対し、入院治療と療養指導を行うとともに、同疾患の 20 歳未満の者に対する外来診療を行っています。

また、隣設の桃陽総合支援学校において、入院療養している児童・生徒が治療を受けながら義務教育を受けられる体制を整えており、療養と教育（療育）を一体で行う全国的にも稀な公立の療育施設として、重要な役割を果たしてきました。

しかしながら、開設から 40 年以上が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいること、少子化などにより患者数は減少傾向にあることなど、様々な課題を抱えており、令和 5 年度の包括外部監査においても、在り方の検討が必要との意見が付されているところです。

こうした状況を踏まえ、外部有識者を交えた「桃陽病院の今後の在り方に関する検討会（仮称）」を設置のうえ、今後の桃陽病院の在り方を検討したいと考えておりますので、御報告いたします。

2 施設概要

【主な特徴】

- 昭和27年に小児結核保養所として開設したことに始まり、現在のような病院として開設したのは昭和57年。
- 一般会計の施策として、慢性疾患等（ぜん息、アトピー性皮膚炎、肥満、神経症、心身症、発達障害等）の入院・外来治療を実施。
- 入院は小・中学生（入院しながら、隣接している桃陽総合支援学校に通学することが可能）、通院は20歳未満の者を対象。

事業概要	開設日	昭和57年10月1日		
	所在地	伏見区深草大亀谷岩山町48-1		
	許可病床数	一般80床、結核20床 ※一般病床の稼働病床数は60床。結核病床は平成9年以降未使用。		
	標ぼう診療科	内科、小児科、発達小児科		
	外来診療時間	毎週月曜日から金曜日の午前9時30分～11時30分、午後1時30分～4時30分 ※原則電話予約制		
	休診日	土曜日、日曜日、祝日及び12月29日から1月3日		
土地・建物概要	土地	総敷地面積：41,006㎡ 市街化調整区域		
	建物 ※面積は延べ床面積	本館	4,571.12㎡ 鉄筋コンクリート（4階建）	昭和57年10月建築
		ガレージ	62.64㎡ 鉄筋コンクリート（1階建）	昭和54年3月建築
		看護師宿舎 （平成22年以降未使用）	489.41㎡ 鉄筋コンクリート（2階建）	昭和57年8月建築
職員数（人） （令和7年4月1日現在）	正 規：医師2、看護師17、薬剤師3、管理栄養士2、事務3 非正規：医師2（常勤換算）、看護師1、保育士1、心理士1、ボイラー技士1、事務1			



3 現状及び課題

【施設・設備の老朽化】

- 開設後 40 年以上が経過していることから、施設・設備の老朽化が進んでおり、これを維持・管理していくためには、今後改修等が必要になる。
- なお、改修等の費用については、億円単位の費用を要することが見込まれる。

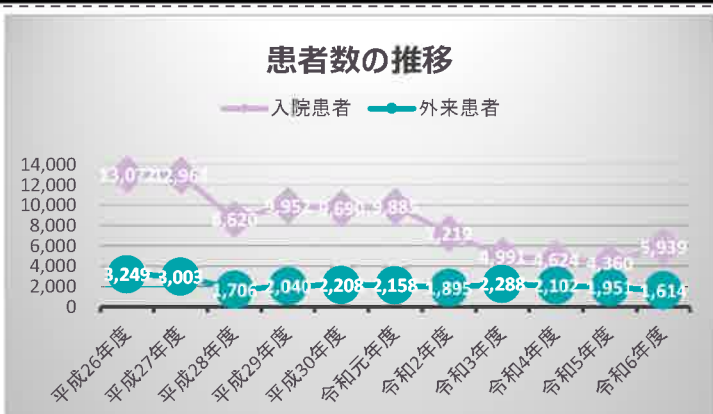
【参考：施設・設備の改修等】

- 現状、外壁にひび割れが多数あることや、大雨の際には天井から雨漏りが発生するとともに配管の漏水により施設の一部分が使用不可となっていることから、今後は外壁補修工事、防水工事、水廻り設備の更新が必要となってくる。
- 改修等については、改築（建替え）や長寿命化（大規模改修）など、様々な手法が考えられるが、令和 4 年度に施設改修費を試算したところ、改築の場合は約 20 億円、長寿命化改修の場合は約 12 億円を要する。
- 直近においても、建築費の高騰が続いていることから、今後も高止まりすることが見込まれる。

3 現状及び課題

【患者数の減少】

- 近年の少子化や、ぜん息・アトピー性皮膚炎等のアレルギー性疾患に対する医療技術の進歩に伴う入院治療から在宅治療への転換等により、小児慢性疾患の入院患者を受け入れている京都市内における他の病院と同様に、**この間、患者数の減少が続いている。**
 - 近年の入院患者の属性は、ぜん息・アトピー性皮膚炎等の患者よりも**精神疾患などの心因性によるものや発達障害の患者の割合が高くなっている。**
 - 京都府保健医療計画にも示されているとおり、桃陽病院を含む京都・乙訓医療圏の基準病床数の減少が見込まれている（※）ことから、今後も桃陽病院における**患者数の大幅な増加は見込めない状況**となっている。
- ※ 一般病床・療養病床の既存病床数（令和5年12月現在）17,240床に対し基準病床数は16,716床と524床（3％）の減少、医療需要（小児科）については、将来的に13％（令和17年度の対令和4年度比）の減少を見込んでいる。



年度	入院+外来 延人数	対前年度比 (%)	患者数の推移 (単位: 人)					
			入院患者			外来患者		
			延人数	対前年比 (%)	1日平均	延人数	対前年比 (%)	1日平均
平成26年度	16,321	—	13,072	—	35.8	3,249	—	13.3
平成27年度	15,967	△ 2.2	12,964	△ 0.8	35.4	3,003	△ 7.6	12.3
平成28年度	10,326	△ 35.3	8,620	△ 33.5	23.6	1,706	△ 43.2	7.0
平成29年度	11,992	16.1	9,952	15.5	27.2	2,040	19.6	8.3
平成30年度	11,898	△ 0.8	9,690	△ 2.6	26.5	2,208	8.2	9.0
令和元年度	12,043	1.2	9,885	2.0	27.0	2,158	△ 2.3	8.9
令和2年度	9,114	△ 24.3	7,219	△ 27.0	19.7	1,895	△ 12.2	7.7
令和3年度	7,279	△ 20.1	4,991	△ 30.9	13.6	2,288	20.7	9.4
令和4年度	6,726	△ 7.6	4,624	△ 7.4	12.6	2,102	△ 8.1	8.6
令和5年度	6,311	△ 6.2	4,360	△ 5.7	11.9	1,951	△ 7.2	8.0
令和6年度	7,553	19.7	5,939	36.2	16.2	1,614	△ 17.3	6.6

病名別入院患者数（実人数）の推移：抜粋

(単位: 人)

	平成8年度	平成19年度	令和6年度
ぜん息	14	9	0
アトピー性皮膚炎	4	0	1
肥満	19	6	1
心因性疾患（精神疾患、心身症）	3	29	16
その他（発達障害を含む）	4	10	3
合計	44	54	21

3 現状及び課題

【包括外部監査意見】

- 前述の施設・設備の老朽化などの現状や課題を踏まえ、令和5年度の包括外部監査において、課題に対する原因とともに、次の意見が付されている。

「事業内容等経営状態の改善施策とあわせて改修や建て替え工事をする」、「他の医療機関に併合する」、或いは「京都市の財政状況を踏まえ他の選択肢をとる」等、桃陽病院の今後の在り方について、専門家も交え早期に検討を開始することが望まれる。

【参考：令和5年度包括外部監査の結果報告書〔桃陽病院関連〕抜粋（詳細は別紙）】

京都市は、経営状況の悪化を受け、令和4年12月から令和5年3月にかけて、外部機関に経営分析を依頼した。当該経営分析では、入院患者数の減少の原因として、学校長期休暇中における病床稼働率の急減・伏見区外での認知度の低さや医師不足等があげられている。

また、上記のほか、個室がなく集団生活が可能な患者に限定せざるを得ないこと、入院患者が通学する場合は京都市立桃陽総合支援学校への入学・転籍が必要であること、現建物構造では男女間のエリア分けができない状況等、患者が入院の意思を決めるにあたり、場合によっては躊躇する環境があることも原因の一つと考えられる。

桃陽病院については、発達障害や不登校などで学校へ通えない小・中学校の子どもたちに、療養と教育（療育）を行うという役割を担っているということは理解できるが、現状の入院患者数の状況では、昨今の京都市の財政状態を踏まえると京都市が桃陽病院を設置する意義が十分にあるかどうか、疑問である。

桃陽病院の建物は建設から41年が経ち、法定耐用年数39年を超過し、施設・設備の老朽化もすすんでいる。

「事業内容等経営状態の改善施策とあわせて改修や建て替え工事をする」、「他の医療機関に併合する」、或いは「京都市の財政状況を踏まえ他の選択肢をとる」等、桃陽病院の今後の在り方について、専門家も交え早期に検討を開始することが望まれる。

4 これまでの取組

- 前記 3 の状況を受け、以下のとおり課題の改善に向けた取組を実施。
 - ① 患者数の増加を図ることなどの取組
 - ・ 院長が学校を中心に実施している講演を通じた周知活動
 - ・ ほとんどの患者が自宅に帰宅し、患者数が減少する長期休暇期間の対策として、肥満の児童を対象に、正しい食生活の意識付けなどを実施するプログラムの開催
 - ② 外部機関との協議を通じた内部検討

5 今後の在り方検討

現状及び課題、これまでの取組を踏まえ、桃陽病院の今後の在り方をあらゆる観点から検討していくために、コンサルによる運営支援を受けながら、以下の流れで検討を進めていく。

- **令和7年度から令和8年度にかけて**

- ① 外部有識者（大学教授や医療関係者など）を交えた「桃陽病院の今後の在り方に関する検討会（仮称）」を開催し、意見聴取・意見交換を実施する。

- **令和8年度**

- ② ①を踏まえて導き出した方向性を、本市の医療施設の在り方を審議する京都市医療施設審議会に諮問する。
- ③ 同審議会からの答申に基づき、桃陽病院の在り方の方向性を策定。

令和5年度

包括外部監査の結果報告書

子育て支援事業に係る財務事務の執行について

令和6年3月

京都市包括外部監査人
堀田喜代司

6 桃陽病院

6.1 事業概要

項目名	施設運営その他
主要施策名	桃陽病院運営
事業名	桃陽病院管理経費
担当部署	桃陽病院
事業目的及び内容	桃陽病院は、慢性疾患等を患っている20歳未満の者に対し、診療及び療養の指導を行うための病院である。桃陽病院管理経費は、当該病院での職員手当・需用費・役務費・負担金等の事務的費用及び院内設備の修繕・維持・保全に要する費用である。
事業名	桃陽病院診療経費
担当部署	桃陽病院
事業目的及び内容	桃陽病院診療経費は、慢性疾患にかかっている20歳未満の者に対し当該病院での診療及び療養指導を行うために要する費用である。
根拠法令等	京都市桃陽病院条例 京都市桃陽病院条例施行規則
事業の支出形態等	京都市直営

(単位：百万円)

桃陽病院管理経費					
項目	委託料	需用費	光熱水費	その他	合計
令和4年度予算	12	2	20	10	44
令和4年度決算	11	1	20	7	39
桃陽病院診療経費					
項目	委託料	需用費	光熱水費	その他	合計
令和4年度予算	40	25	－	3	68
令和4年度決算	40	16	－	1	57

6.1.1 目的及び特徴

桃陽病院は、慢性疾患等を患っている20歳未満の者に対し診療及び療養の指導を行うための病院である。

特徴としては、ぜん息やアトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患、高度肥満症や糖尿病、腎炎などの小児慢性疾患、発達障害、心身症や不登校などの心の病など様々な理由で学校に通えない小・中学校の子どもたちが、入院しながら隣接の京都市立桃陽総合支

援学校で学ぶことという、療養と教育（療育）を行っている点にある。

桃陽病院は、地方公営企業法に基づき公営企業の範囲に入る病院ではなく、一般行政目的から設置される病院、いわゆる一般行政病院である。

地方公営企業として経営される病院の場合、経済性の発揮が強く求められ特別会計において経理処理される。一方、桃陽病院は、一般行政病院であり、一般会計において直接経理・経営される病院である。

6.1.2 沿革

桃陽病院は昭和 27 年に小児結核保養所として開設されたことに始まる。沿革は以下のとおりである。

昭和27年3月	小学生を対象に小児結核保養所として開設(旧桃陽学園、病床数66床)
昭和32年8月	中学生の入園開始
昭和43年8月	一部の病床をぜん息、腎炎、ネフローゼ疾患の病床に変更
昭和49年4月	呉竹養護学校桃陽分校設置
昭和54年4月	桃陽養護学校として独立
昭和57年10月	桃陽病院として改築 病床数100床
平成5年6月	外来診療開始

6.1.3 建物の概要

桃陽病院は、京都市伏見区深草の伏見桃山城の東側にあたる峠を上った小高い丘に位置し、病弱児支援学校である京都市立桃陽総合支援学校に隣接する。最寄り駅は、JR 奈良線藤森駅もしくは京阪墨染駅であるが、ともに徒歩で約 20 分もしくは約 25 分掛かるうえ、急な坂道を登る必要がある。土地の総敷地面積は 41,006 m²ある。建物の概要は【表 6.1.3】のとおりであり、本館建物は昭和 57 年に建築した鉄筋コンクリート造 3 階建て（一部 4 階）である。本館内は広々と設計されており、プレイルーム・食堂・図書館等が配置されている。

【表 6.1.3】桃陽病院建物概要

所在地	建築年月	延べ床面積 (m ²)	構造	備考
伏見区深草大亀谷岩山町	昭和 57 年 8 月	4,751.12	鉄筋コンクリート造	本館
	昭和 57 年 8 月	62.64	鉄筋コンクリート造	看護師寄宿舍 平成 22 年以降使用せず。
	昭和 54 年 3 月	62.64	鉄骨	ガレージ

(出典：京都市ホームページ)

6.1.4 診療科目・外来時間・病床数

桃陽病院の診療科目・外来時間・病床数は、【表 6.1.4】のとおりである。一般病床は 80 床であるが、ナースステーションが 1 箇所のみであるため、病院の入院基本料等に関する施設基準に照らし、一般病床の利用可能な病床は 60 床である。

【表 6.1.4】診療科目・外来時間・病床数

診療科目	小児科、内科、発達小児科
外来診療時間	毎週月曜日から金曜日 午前 9 時 30 分から 11 時 30 分 午後 1 時 30 分から 4 時 30 分 原則電話予約制
休診日	土曜日、日曜日、祝日及び 12 月 29 日から 1 月 3 日
病床数	100 床（一般病床 80 床、結核病床 20 床）

（出典：京都市ホームページ）

6.1.5 職員数

桃陽病院の過去 5 年間の職種別職員数は【表 6.1.5】のとおりである。常勤の保育士や非常勤の心理士が配置されている。また、令和 3 年度からは常勤の医師が 1 名体制となっている。

【表 6.1.5】職種別職員数

（単位：人）

	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
職種別職員数	31	35	36	34	34
常勤	26	30	31	29	29
医師	2	2	2	1	1
看護師（注 1）	17	19	20	19	19
薬剤師（注 1）	2	3	3	3	3
管理栄養士	1	2	2	2	2
保育士	1	1	1	1	1
事務職員	3	3	3	3	3
非常勤	5	5	5	5	5
医師（注 2）	2	2	2	2	2
心理士	1	1	1	1	1

			平成 30 年度	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
		事務職員	1	1	1	1	1
		ボイラー技士	1	1	1	1	1

(出典：はぐくみ局提供資料)

(注 1) 産前産後休暇・育児休暇職員を含む

(注 2) 常勤換算数（小数点以下切り捨て）

6.2 事業実績状況

6.2.1 患者数

外来患者数・入院患者数等の推移は、【表 6.2.1 の 1】のとおりである。

1 日あたり平均外来患者数が 10 人以下と少ないが、これは精神及び行動の障害の患者が多く、診断に時間の掛かることが多いためであると考えられる。

入院患者数は令和 3 年度より減少している。これは、主にコロナ禍のもと入院を忌避する患者が増加したことと、常勤医師が 2 名から 1 名に減少した影響による。

入院患者 1 人平均在院日数は、令和 4 年度で 25 日であるが、実態としては、京都市立桃陽総合支援学校で連続休暇（ゴールデンウィーク・春・夏・冬休み等）が始まるといったん退院して在宅し、学校が始まると再入院することを繰り返すことが通例で、患者によっては三連休でも退院する場合がある状況である。【表 6.2.1 の 2】令和 4 年度病名別月末入院患者数をみると、7 月末の入院患者は 7 名、12 月末は 1 名、3 月末は 0 名と入院患者が非常に少ない、もしくはいない状況だが、これは、7 月・12 月・3 月の末日は、それぞれ夏・冬・春休み中であるためである。また、入院患者は京都市南部に集中しており、約半数が伏見区在住である。

【表 6.2.1 の 1】外来患者数・入院患者数等の推移

(単位：人、日、%)

項目	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
外来患者数（注 1）	2,208	2,158	1,895	2,288	2,102
1 日あたり平均外来患者数	8.4	9.0	7.8	9.5	8.5
入院患者数（延人/年）（注 2）	9,690	9,885	7,219	4,991	4,624
入院患者 1 人平均在院日数	30	32	28	22	25
1 日あたり平均入院患者数（注 2）	26.5	27.1	19.8	13.7	12.7
病床利用率（注 3）	26.5	27.1	19.8	13.7	12.7

(出典：はぐくみ局提供資料)

(注 1) 小児科のみ

(注 2) 入院患者数÷365

(注 3) 1日あたり平均入院患者数÷100床(休床20床及び結核病床20床含む。)

【表 6.2.1 の 2】令和4年度病名別月末入院患者数

(単位：人)

病名	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
アトピー性皮膚炎		1	1	1		1	1	1	1		1	1		9
肥満														38
肥満症		1	2	3	1	3	2	2	2		2	3		21
脂肪肝		2	2	2	3	2	2	1	1		1	1		17
発達障害														20
発達障害			2	2		2	1	1	2		2	2		14
自閉症スペクトラム障害					1		1	1	1		1	1		6
精神疾患														60
不安障害		1	2	2		3	2	2	3		2	2		19
不安神経症		1	1	1		1	1	1	1		1			8
社会不安障害		1	1	1	1	1	1	1	1			1		9
適応障害		2	2	2		3	2	2	1		1	1		16
うつ状態			1	1				1	1		1	2		7
解離性障害			1											1
心身症														10
摂食障害							1	1	1	1	1	1		6
過敏性腸症候群				1		1						2		4
その他														6
成長ホルモン分泌不全低身長症		1	1	1	1	1	1							6
合計		10	16	17	7	18	15	14	15	1	13	17		143

(出典：はぐくみ局提供資料)

6.2.2 診療報酬等

診療報酬等の推移は、【表 6.2.2】のとおりである。

入院診療報酬は、入院患者数の減少に伴い令和3年度より減少している。

また、窓口報酬に関する収入未済残高は、令和4年度で352千円であり、主に退院した患者の自己負担額である。

【表 6.2.2】診療報酬及び収入未済残高推移

(単位：千円)

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
外来診療報酬	18,550	22,696	20,642	21,457	18,524
入院診療報酬	188,813	190,059	149,902	106,567	104,517
収入未済残高	300	311	301	234	352
窓口報酬	300	311	301	234	352
その他	-	-	-	-	-

(出典：はぐくみ局提供資料)

桃陽病院での窓口診療報酬の現金の収納に関しては、京都市会計規則及び公金収納受託者の収納事務業務マニュアルに基づき、日次で現金チェック等を行っている。収納金は翌営業日に金融機関に預け入れている。

監査人は、収受した収入が適切に記帳され出納されたか確認するため、令和 5 年 3 月 30 日の領収書控え・収納金日計報告書・領収調書・収納金出納簿・収納機関の領収書を照合した結果、指摘事項は発見されなかった。

6.3 委託契約

監査人は、契約事務が適切かつ効率的に行われているか確認するため、令和 4 年度の桃陽病院管理経費及び診療経費に関連する委託料の明細より、下記取引を抽出し、決定書・契約書類等関連書類を確認した。

(単位：千円)

内容	委託先	金額
桃陽病院庁舎清掃業務	株式会社クリーンライフ	3,520
桃陽病院送迎等運行業務	彌生自動車株式会社	2,402
桃陽病院空調設備等保全管理業務	株式会社大興設備開発	1,056
桃陽病院給食調理等業務	株式会社ニチダン	28,776
桃陽病院医事業務	株式会社ソラスト	10,203

上記のうち、桃陽病院給食調理等業務及び桃陽病院医事業務の委託先は、プロポーザル方式で選定されている。

桃陽病院医事業務の募集要項の概要は、【表 6.3】のとおりである。

【表 6.3】 桃陽病院医事業務の募集要項概要

委託内容	桃陽病院医事業務委託
委託事項	新規・再来患者受付業務 外来・入院会計業務 入院関係業務 諸証明及び診断書（各種意見書等を含む。）に関する医事業務 公金収納関係業務 診療報酬請求業務 その他の医事業務
委託期間	令和3年度～令和5年度
評価基準	【企画提案書】 ・仕様書の業務内容を正確、かつ円滑に実施するための計画であるか。 ・企画提案書及び仕様書の業務内容を確実に実施するための適正な業務社員の配置と計画がされているか。 ・業務社員は、正確な事務処理を実施するための資格と経験を有しているか。 ・正確な診療報酬請求を実施するために、診療報酬請求書の作成及び点検方法の実施計画が確立されているか。 ・利用者と直接接する業務であることから、応対や個人情報の保護に関する研修や教育が計画的に実施されているか。 ・京都市公金収納受託者として正確な事務処理を実施するための体制が確立されているか。 ・業務実施計画全般について、利用者に対しより良いサービスの提供を実施するための計画がされているか。 【価格】 ・企画提案書と仕様書の業務内容を確実に実施し、なおかつ効率的な価格となっているか。

桃陽病院医事業務の募集要項では詳細な仕様書の内容を定めており、契約の相手方によって履行の内容又は方法が異なるため、仕様書等で具体的に契約の内容を規定することが困難なものとまでは言い難い。

プロポーザル方式による発注は、応募者にとっては企画提案書等を作成する必要がある、また選定者にとっては企画提案書を査閲し評点を配する必要がある等応募者・選定者ともに一定の負担の掛かる発注方法である。

「桃陽病院医事業務」の業務内容を踏まえ、入札参加条件として一定の資格・実績等を付す等により品質を確保できる場合には、プロポーザル方式によらない発注方法を検

討することが望まれる。

なお、桃陽病院医事業務以外の契約については、指摘事項は発見されなかった。

【意見 28】 桃陽病院医事業務の発注方式

「桃陽病院医事業務」は、プロポーザル方式により業者を選定しているが、詳細な業務内容について定めた仕様を委託する契約内容であり、契約の相手方によって履行の内容又は方法が異なるため、仕様書等で具体的に契約の内容を規定することが困難な業務とまでは言い難い。

応募者・選定者ともに一定の負担の掛かるプロポーザル方式によらない発注方法にすることが望まれる。

6.4 桃陽病院の在り方の検討

平成 31 年度から令和 3 年度の経営状態は【表 6.4 の 1】のとおりである。入院患者数が減少傾向にあり、これに伴い入院収益及び収支も悪化傾向にある。稼働可能な一般病床数は 60 床あるにも関わらず、令和 4 年度の日あたりの入院患者数は 12.7 人と非常に少ない。また、【表 6.4 の 2】のとおり、1 病床あたりの経常損益は、令和 3 年度において 16,220 千円の損失となる。一人の患者が 1 年間入院していると仮定すると当該一人の患者に税金 16,220 千円を投じていることになる。

【表 6.4 の 1】 経営状態推移

(単位：千円)

項目		平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度
収入	入院収益	173,405	136,424	95,314
	外来収益	39,457	34,120	32,710
	その他	1,366	1,446	8,645
	収入計	214,228	171,990	136,669
支出	人件費	294,895	283,362	260,220
	経費	75,442	78,835	77,856
	その他	25,850	23,400	20,807
	支出計	396,187	385,597	358,883
経常損益		△181,959	△213,607	△222,214

(出典：京都市桃陽病院経営分析報告書)

(注) △：マイナス金額（損失）

【表 6.4 の 2】1 病床あたりの収支

(単位：千円、人)

項目	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度
経常損益 ①	△181,959	△213,607	△222,214
1 日あたり平均入院患者数 ②	27.1	19.8	13.7
1 病床あたりの経常損益 ①÷②	△6,714	△10,788	△16,220

(出典：京都市桃陽病院経営分析報告書より監査人が計算)

(注) △：マイナス金額（損失）

京都市は、経営状況の悪化を受け、令和 4 年 12 月から令和 5 年 3 月にかけて、外部機関に経営分析を依頼した。当該経営分析では、入院患者数の減少の原因として、学校長期休暇中における病床稼働率の急減・伏見区外での認知度の低さや医師不足等があげられている。

また、上記のほか、個室がなく集団生活が可能な患者に限定せざるを得ないこと、入院患者が通学する場合は京都市立桃陽総合支援学校への入学・転籍が必要であること、現建物構造では男女間のエリア分けができない状況等、患者が入院の意思を決めるにあたり、場合によっては躊躇する環境があることも原因の一つと考えられる。

桃陽病院については、発達障害や不登校などで学校へ通えない小・中学校の子どもたちに、療養と教育（療育）を行うという役割を担っているということは理解できるが、現状の入院患者数の状況では、昨今の京都市の財政状況を踏まえると京都市が桃陽病院を設置する意義が十分にあるかどうか、疑問である。

桃陽病院の建物は建設から 41 年が経ち、法定耐用年数 39 年を超過し、施設・設備の老朽化もすすんでいる。

「事業内容等経営状態の改善施策とあわせて改修や建て替え工事をする」、「他の医療機関に併合する」、或いは「京都市の財政状況を踏まえ他の選択肢をとる」等、桃陽病院の今後の在り方について、専門家も交え早期に検討を開始することが望まれる。

【意見 29】桃陽病院の在り方の検討

現状、桃陽病院については、建物の老朽化が進んでおり、入院患者数の減少により経営状態が悪化している。

「事業内容等経営状態の改善施策とあわせて改修や建て替え工事をする」、「他の医療機関に併合する」、或いは「京都市の財政状況を踏まえ他の選択肢をとる」等、桃陽病院の今後の在り方について、専門家も交え早期に検討を開始することが望まれる。